

記入上の注意

この入所申込書は、保護者が次の点に注意し記入のうえ提出してください。

なお、その家族から2人以上の児童が同時に入所を申し込む場合は、それぞれの児童ごとに1枚の用紙を用いてください。

【1】保育所入所申込書（様式第1号）

- 「入所児童」の欄は「氏名」にふりがなを付し、「性別」の欄は該当するものを○で囲んでください。
- 「保育の実施を希望する期間」には、小学校就学始期に達するまでの、3の保育の実施を必要とする理由に該当すると見込まれる期間の範囲内で記入してください。
- 保育所へ入所できる基準は次の表に掲げるような場合になります。「保育の利用を必要とする理由」の欄については、両親（両親と同居していない場合には、現在児童の面倒を実際にみている者）が下の表の(1)から(9)までに掲げるいずれの場合に該当するかを判断して、その該当する番号を全て○で囲み、かつ、その具体的な状況について、同欄に記入してください。（例えば、(1)に該当する場合は勤務先・就労時間・就労日数等、(2)では出産の時期を、(3)では傷病名や治療見込み期間等、(4)では看護している病人等の傷病名や治療見込み期間等、(5)では災害の程度・復旧見込み期間等です。）
なお、具体的な状況を確認できる書類があれば、あわせて添付してください。

《 入所基準表 》

番号	項目	保育の実施を必要とする理由
(1)	就労等	(家庭外労働) 児童の保護者が家庭の外で仕事をするのが普通なので、その児童の保育を必要とする場合 (家庭内労働) 児童の保護者が家庭で児童とはなれて日常の家事以外の仕事をするのが普通なので、その児童の保育を必要とする場合
(2)	妊娠・出産	児童の保護者が出産の前後のため、その児童の保育を必要とする場合
(3)	疾病・障害	児童の保護者が病気、負傷、心身に障がいがあるため、その児童の保育を必要とする場合
(4)	介護等	児童の家庭に介護が必要な高齢者や、長期にわたる病人、心身に障害のある人、小児慢性疾患に伴う看護が必要な兄弟姉妹がおり、保護者がいつもその同居又は長期入院・入所している親族の介護・看護にあたっているため、その児童の保育を必要とする場合
(5)	災害復旧	火災や風水害、地震などの不幸があり、その家屋を失ったり、破損したため、その復旧の間、児童の保育を必要とする場合
(6)	求職活動	児童の親が求職活動（起業準備を含む）を行っているため、その児童の保育を必要とする場合
(7)	就学	児童の親が就学（職業訓練校等における職業訓練を含む）のため、その児童の保育を必要とする場合
(8)	虐待・DV	虐待やDVのおそれがある場合
(9)	育休継続	育児休業取得時に、既に保育を利用している子どもがいて継続利用が必要である場合

- 「入所児童の世帯員」の欄は、入所児童本人以外の入所児童の両親及び同居している親族等の全員について記入するとともに、「性別」及び「障害者手帳の有無」の欄は、該当するものに○で囲んでください。

【2】保育所への入所については、

- ・ 保育所の必要性の事由に該当しないために入所が認められない場合
- ・ 希望者が多数いるため希望する保育所へ入所ができない場合
- ・ 保育所へ入所できる基準の該当事由により保育の実施期間の希望に添えない場合がありますから、あらかじめご了承ください。